

## 2017年 2月度家計分析

**提出者数** 128名（登録者138名、提出率92.8%、昨年同時期より21名減、前月と同じ）  
 今月も高い提出率でした。引き続きよろしくお願いたします。

**収入** 総合で給与夫、妻ともに増加しています。年金も増加していますが、こちらは年齢が上昇していることが原因と思われます。実収入の合計も102.7%と増加しています。

**非消費支出** 税金が前年比112.2%でした。所得税が特に伸びており、給与が上がったための増加と思われます。私的保険も伸びています。40代で一括払いされた方があり、特に前年比が増えました。また、私的保険の中でも個人年金が増えています。

**消費支出** 2月と8月は消費が低いと言いますが、全体的に支出も少なく、また前年より支出の少ない費目が多く、節約や寒くて外出を控えたのでしょうか。前年を上回ったのは、保健医療費、交際費、職業主婦費のみでした。交際費では若い年代が珍しく多く、喜寿祝やふるさと納税などの記入がありました。ふるさと納税は節税にもなり、商品ももらえるお得感で増加しているようですが、今後は返礼品の見直しで減っていくと思われます。一方、60代以上の交際費は減少していますが、入学祝や子世帯への援助などの記入がありました。中には孫塾代というものもあり、近頃の世相を反映しています。何度も雪が降りましたが、水・光熱費は前年比を下回りました。電力自由化の影響だとすれば、喜ばしいことです。受験シーズンであり、教育費も40代では2位になっています。大学受験料、大学入学金などの記入がありました。費用は今月についてはさほど、高くはありません。12月にも推薦入試などでの入学金の支払いがありましたし、3月にも入学金や授業料が発生する方も多と思われる。

### ランキング

順位	全体	20～30代	40代	50代	60代以上	年金世帯
1位	食費 64,507	社保 53,980	社保 73,399	社保 84,627	食費 61,918	食費 60,467
2位	社保 60,724	食費 50,242	教育 72,690	食費 72,139	社保 44,990	社保 42,506
3位	税金 44,637	家地 48,572	家地 67,479	税金 67,328	教娯 38,429	教娯 38,623
4位	私保 33,228	教育 38,358	食費 66,428	教育 57,643	税金 34,880	税金 29,039
5位	職主 31,298	税金 31,056	私保 51,401	家地 56,093	水光 23,732	交際 24,189
6位	教育 30,989	職主 30,133	税金 44,542	職主 46,973	職主 23,408	水光 23,795
7位	家地 30,629	私保 27,019	職主 31,215	私保 45,337	交際 23,177	私保 22,618

注) 家地：家賃地代      私保：私的保険      社保：社会保険      教娯：教養娯楽費  
 職主：職業主婦費      住他：住居費その他      水光：水・光熱費